



19年3月期業績総括及び 20年3月期事業戦略

代表取締役
社長執行役員 最高執行責任者
谷原 徹

2019年4月26日

I. 19年3月期 通期業績説明

(単位：億円)

	18年3月期	19年3月期	増減額	増減率
売上高	3,366	3,586	+220	+6.5%
営業利益	346	383	+37	+10.9%
経常利益	362	386	+23	+6.5%
当期純利益	324	278	△45	△14.1%

生産性の向上

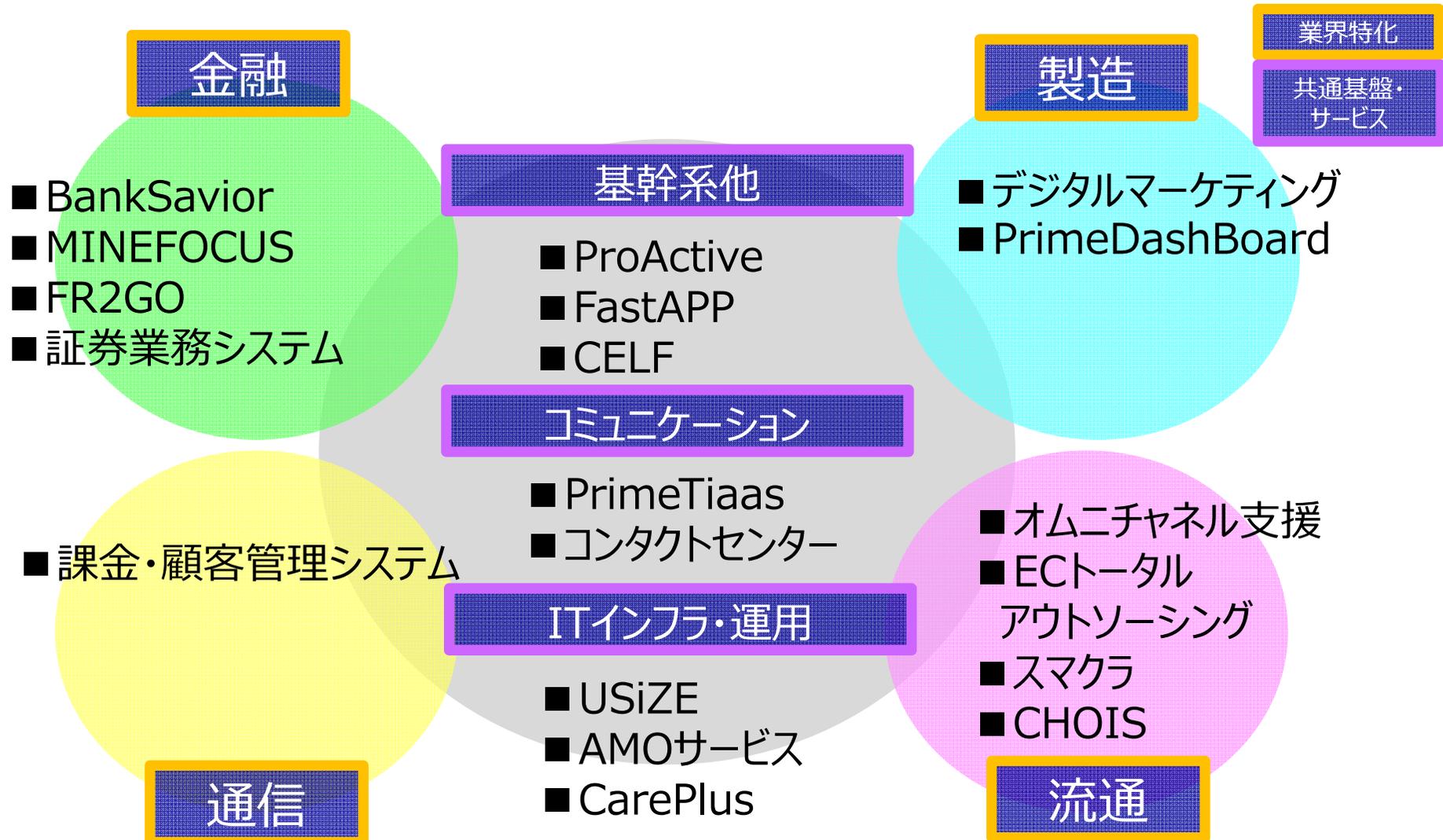
- 開発標準SE+の全社適用はもとより、
コアパートナー各社へも適用
- ニアショア開発体制の拡充

成長施策

- DX事業化委員会／DXセンター立ち上げ
- ものづくり革新委員会設置
- 連結子会社JIEC、ベリサーブの完全子会社化

Ⅲ. サービス提供型ビジネスについて

18年3月期 700億円 → 19年3月期 740億円 (+6%)



事業資産の一部について早期償却を実施

アドヴィックス社の新世代ブレーキシステムに
「QINeS-BSW RTOS」が採用

モビリティシステム事業部門を新設

新たな事業創出を目指した投資

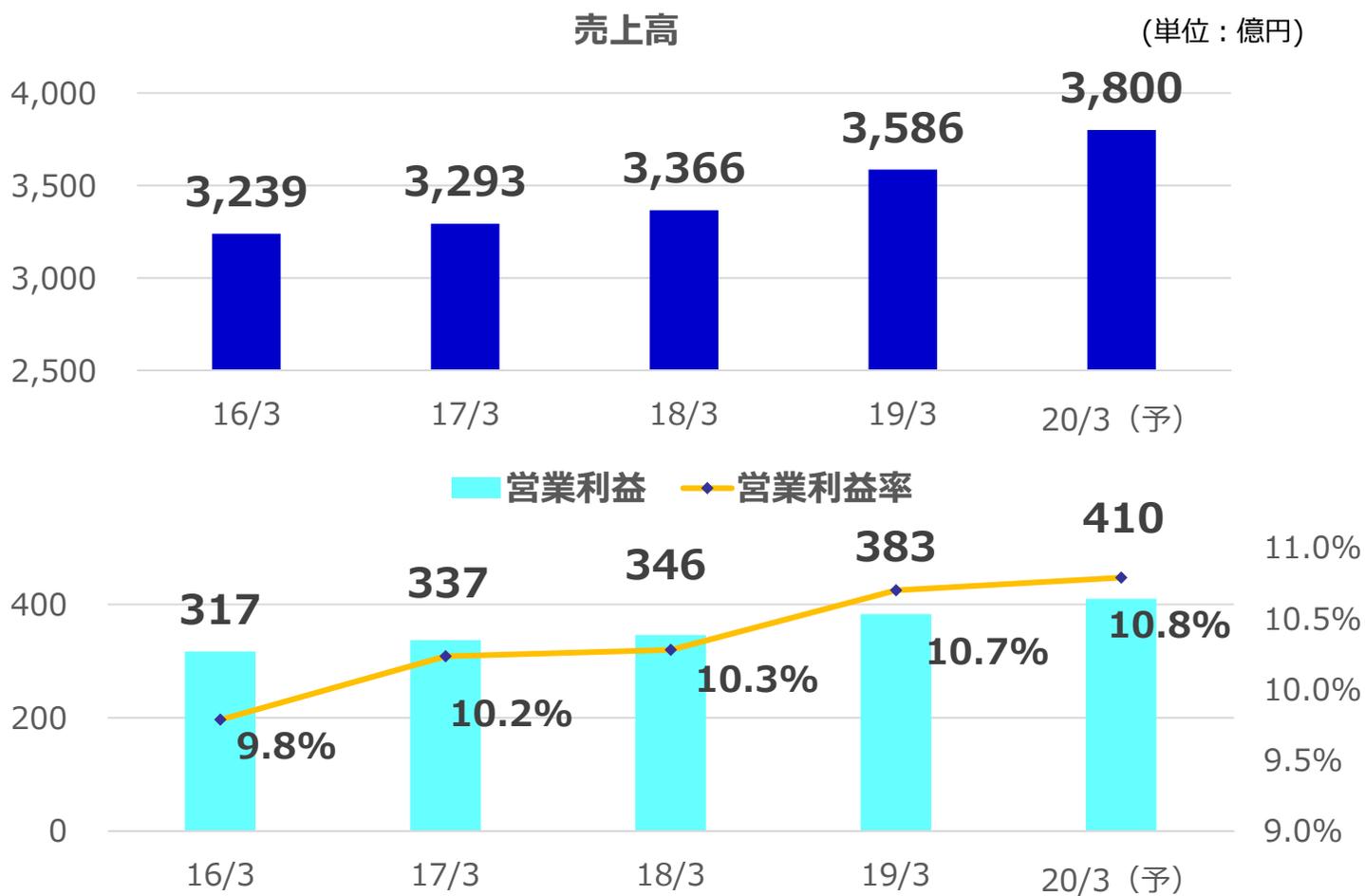
アジア太平洋地域での新規事業展開

VI. 20年3月期 通期業績予想

(単位：億円)

	19年3月期	20年3月期 (予想)	増減額	増減率
売上高	3,586	3,800	+213	+6.0%
営業利益	383	410	+26	+6.8%
経常利益	386	410	+23	+6.1%
当期純利益	278	280	+1	+0.4%

Ⅶ. 業績推移（16年3月期実績～20年3月期予想）



	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3 <予>
配当金	75円	90円	95円	100円	130円 (20円)

Ⅷ. 50周年

ITの、つぎの、幸せへ。

どうせうまくいかない。とは考えたことがなかった。

50年前に生まれた、よく似た名前の会社が

一緒になって、SCSKになったときも。

世の中に先駆けて、働き方改革を始めたときも。

たいへんだけど、できることが少しずつ増えていくのは、

いつも何度でも、楽しく、ワクワクすること。

それは、まだ世の中になくものをつくり、心地よくする

私たちの根っこにある熱い思いと同じもの。

SCSKは、ひとが好きです。

ひとを想うから、お客さま、仲間とその家族、

日本中で暮らすみんなのいまも、よくしたい。

その未来に見えてくる「あったらいいな」まで

全力で、叶えていこう。

Thank you
50th
ANNIVERSARY



SCSK
夢ある未来を、共に創る。



toAR (トール) だからできる!
地球にスマホをかざすと
未来が見える!

アプリを
ダウンロード



For App Store

For Google play



夢ある未来を、共に創る

お客様からの信頼を基に、共に新たな価値を創造し、
夢ある未来を拓きます。

< 免責事項 >

- 本資料は、当社グループの業績及びグループ事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社及び当社グループ会社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
- 本説明会及び資料の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願い致します。